

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年5月14日

事業所名 マナビズムSPEAKIN' 吹田江坂教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	4				利用者によって支援室 内で机の場所や教材の 位置などを工夫してい る。 個別療育室を3室設置 し、最大3組の利用者の	児に合う机、椅子の入れ替え
	2	職員の配置数は適切であるか	3		1		どの時間帯にも療育に 入っていない職員がいる ように設置しています。	職員の増員
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化され た環境になっているか。また、障害の特性に 応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされている か	4				構造化 見学时にエレベーターが 設置されていることや支 援室内の様子を確認し ていただいている。 お子さんの身長によつて 机の大きさを変更してい る 絵カードなどを使用し、 視覚的手段を積極的に 毎日清掃、消毒を実施し ている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	4				子どもによって教材を減 らすなどの環境調整をし て工夫している 毎日掃除を行い、清潔 な状態を維持できるよう 心がけています。	広く使えるよう、家財の配置を 検討
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	4				毎朝のMTにて話し合 い。委員会の設置 定例ミーティングの際に 職員全員で確認、検討し ています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保護者 等の意向等を把握し、業務改善につなげてい るか	4				毎回利用時に相談支援 を行っている。 保護者への事業所評価 を実施した	職員全員で共有し、改善点を検 討しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を 行うとともに、その結果による支援の質の評 価及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	4				委員会ごとに実施したこ とをHPIに写真付きで記 載 ホームページや公式 LINEなど様々なツール	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	3		1		外部アドバイザーとの密 な連携 第三者への評価の実施 に至っておらず実施を検 討する 外部アドバイザーと密に 連絡を取っています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	4				教育研修のための委員 会を設置。定期的な研 修。 事業所ごとや両事業所 合同で研修を実施して いる。 月に一回研修を開催し ている	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成しているか	4				モニタリングの時間を設 け、児童発達支援管理 責任者との会議を行う。 利用終了後に保護者の 方とその都度ニーズや 課題についてお話してい る。 保護者の方のニーズを 確認し、担当者と児童発 達支援管理責任者と会議を	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1		標準化はしていないが、職員間でバリエーションある環境である。様々な言語検査を行っています。	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				個人合わせた教材、支援ガイドラインに沿った事例を計画書に記載しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		1		個人に合わせた療育のため、教材の充実プログラムを検討する際に確認の上決定してバリエーションある環境	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				他職員に共有、相談を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		1		訓練の前に訓練教材の検討、作成 毎回同じ課題を用いることで、目標達成度や難易度を調整している。 同じ教材でも声掛けの内容や頻度を変えている お子さまの発達に応じて	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2		2		個別での療育のため、 集団療育は行っていない。おもちゃの取り合い時に代弁での声掛け。 集団生活の様子をより想定するように改善する 集団活動での必要なスキルを獲得出来るよう計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				職員が2人体制の際は打ち合わせをしている。朝のミーティングで一日の流れについて確認をしている 朝のミーティングで職員全員で打ち合わせを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4				2人体制の時は振り返り、次回の検討を行っている。 各自で実施し、全体への共有が必要なことに関しては共有できている 朝のミーティング時に	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				毎回支援の記録、考察 毎回保護者の方との相談支援とお子さまの様子を記録し、次回プログラム検討に活かしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4				保護者と支援者、支援者と自発管理責任者の会議の場を設ける 半年に1度行っています	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				支援者が必ず参加している。 担当者の参加を義務化しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4				定期的な情報共有 関係機関と積極的に情報共有を行っています。 事業所訪問など希望に応じてお受けする	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4				すいすいシートなどを活用している 希望に応じて園と連携しています。	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4				希望があれば行っている。 保護者を通しての情報共有などを実施 希望に応じて行っています。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4				研修や勉強会の参加 市の研修に積極的に参加しています。	
26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		2		イベント等の開催 専門職が個別療育を行う形態のため行っていない 保育園に体験に行っている		
27	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		1		地域の勉強会に参加 ケース会議などを積極的に参加しています。		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				相談支援時に障害受容を促す 相談援助の際に共有出来るよう心がけています		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4				希望があれば行っている 相談支援の際に切り替え時など保護者の方と一緒に声掛けをするなど		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				変更時にも行っている 書面の説明を時間を設けて行っています。	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得て	4				契約時 ガイドラインに沿った計画書を作成し、保護者の方と確認しています。	
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				毎回相談支援を行っている。 言語面の相談支援の他にもグッズや他事業所の紹介などを行っています	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4				イベントごとにお話をお伺いする 年長児の保護者のかたへ向けて、就学相談会を開催している 就学相談会を実施し、実際に小学校に通っているお子さんの保護者の方の声を聴く機会を設けた 就学相談会など保護者の方に参加していただく	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				迅速に対応している 申し入れや相談があった際は、次回利用時まで改善できるよう努め 勉強会や研修などプリント配布して口頭で説明している。	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				人権イベントなど実施した 公式ラインやホームページなど様々なツールでお	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4				ファイルで管理し、持ち出しを不可にしている。共有の際も名を伏せている。	
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				鍵のつく棚に書面を保管し、持ち出さないように 保護者と子供と3人でお話する機会を設けている。 個人名を伏せ字にし、情	
非常時等への対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4				閲覧できる本棚に設置している 委員会で作成し、全職員に共有しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				避難訓練等、利用者の方の協力を仰ぐ 委員会を設置し、備蓄の確認を定期的に行っています。	
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4				契約、見学時に確認している 見学時と、年度ごとにアセスメントシートを保護者の方に記入していただき、確認しています。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		3		医療行為、食事介助は行わないので行っていない 食事提供はないが、食物アレルギーの有無の把握をしている 食事訓練などないが、アレルギーの有無について確認を実施 食事の提供が開始される場合は研修で共有で毎月確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4				定例ミーティングで全職員で共有しています。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				研修し、専用窓口を設置している 責任者を設置し、年に2回研修を行なっています。	
	44	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか	4				研修を行っている 委員会を設置し、毎年研修を行い職員間で共有しています。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		1		計画に記載し、保護者の方と確認しています。	身体拘束を行っていない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。